

**夢や希望に向かって****～松戸市出身宇宙飛行士 山崎直子さん～**

2学期、東部小創立145周年を記念して松戸市出身の宇宙飛行士、山崎直子さんの講演会を計画しています。

山崎さんは、小学生のころから宇宙にとっても興味を持っていたそうです。「銀河鉄道999」や「宇宙戦艦ヤマト」が大好きで、近所の松戸市民会館のプラネタリウムにも何度も何度も通ったそうです。

中学3年生の時に将来の夢を具体的に実現させようとするきっかけがありました。アメリカの宇宙船チャレンジャー号の爆発事故です。山崎さんは、事故で亡くなった宇宙飛行士の志（こころざし）をつぎたいとそのときに思ったそうです。そして実際に宇宙飛行士として活躍するまでに、さまざまな困難があったことが想像できます。それを支えたものは、小学生の頃から抱いてきた「夢」や「希望」ではないかと思います。



山崎さんから、子どもたちにとって興味深い「宇宙」のお話が聴けるのではないかと思います。また、「夢」や「希望」を持ち、それに向かって努力することの大切さを学ぶことができると考えています。今からワクワクしてきます。

**夏休みは本を読もう(3)****～「友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える」～**

(菅野 仁著 ちくまプリマー新書刊)



私自身とてもためになった本です。思春期にさしかかり、友だち関係に少し疲れたり、悩んだりしている人にこそ読んでほしいと思いました。社会教育学者である筆者の菅野さんの長女が人づきあいが苦手で、担任の先生から「なぜみんなと一緒にあそばないの？」と注意され苦しんでいたことが執筆のきっかけだったと新聞記事にありました。ほんの一部を紹介します。

- ◆ 「同じ年代の若者が集う同質の集団である学校という場合は、どうしても同調圧力が高まる傾向が強いです。」
- ◆ 「当然のことですが、気の合わない人間、あまり自分が好ましいと思わない人間とも出会います。そんな時に、そういう人たちとも『併存』『共存』できることが大切なのです。そのためには、『気に入らない相手とも、お互い傷つけあわない形で、ともに時間と空間をとりあえず共有できる作法』を身につける以外ないのです。」